

西洋なし (ラ・フランス)

発芽 展葉 開花始 満開 落花 収穫盛
3.26 4.21 4.24 4.28 5.4 10.10

平年値 (東横市営団) 北村山農業技術普及課調査

散布時期	適用病害虫名	散布薬剤名及び散布濃度 (薬液100ℓ当たり)	農業使用基準		10a当たり 散布量	注意事項 (収穫前日数 総使用回数)を表す	散布日 (月/日)	使用薬剤	使用 濃度
			収穫前 使用時期	総使用 回数					
休眠期	胴枯病	1. パッチレート	原液	剪定時及び 病患部削り 取り直後	塗布は 3回以内	1. 輪紋病のいは皮病斑や胴枯病斑が枝幹部にあるので、粗皮削りを必ず行い、病斑部を削り取り、胴枯病の病斑部への塗布は必ず行う。 2. 胴枯病の進行した枝は切除し、園外に持ち出し処分する。			
3月下旬～発芽前	ハダニ類 越冬病害虫 輪紋病 胴枯病	1. ハーベストオイル 2. 石灰硫黄合剤 又は、 トップジンM水和剤	(98ℓ) (石灰硫黄合剤使用の場合) 2,000倍(50g) 10倍(10ℓ) 1,000倍(100g)	発芽前 発芽前 前日まで	— — 6回以内	1. 輪紋病の見られる園は石灰硫黄合剤を使用する。先にハーベストオイルを溶かしてから石灰硫黄合剤を混用し直ちに散布する。	／		
4月下旬 (開花直前)	黒斑細菌病 心腐れ症(胴枯病菌) シンクイムシ類 ハマキムシ類	1. デランフロアブル 2. フェニックスフロアブル	1,000倍(100cc) 4,000倍(25cc)	60日前まで 前日まで	4回以内 2回以内	1. デランフロアブルは、散布時間により葉斑が出る場合があるので乾きやすい時に散布する。	／		
4月下旬(1回目)	ナシヒメシンクイ	ナシヒメコン		10a当り100本を設置		詳細は2ページを参照			
5月上旬 (満開10日後)	黒斑細菌病 心腐れ症(胴枯病菌) (アブラムシ類) (シンクイムシ類) (ハマキムシ類)	1. デランフロアブル	1,000倍(100cc)	60日前まで	4回以内	1. アブラムシ類発生園ではウララDF 2,000倍(収穫14日前まで、2回以内)を加用する。 2. シンクイムシ類、ハマキムシ類発生園ではフェニックスフロアブル 4,000倍(前日まで、2回以内)を加用する。 3. 胴枯病は、この時期から胞子の飛散が始まるので防除間隔をあげないよう注意する。	／		
この回以降の散布は殺虫剤解禁後とする									
5月中～下旬	輪紋病 胴枯病 シンクイムシ類 アブラムシ類 ハマキムシ類	1. オキシラン水和剤 2. ベンレート水和剤 3. ダントツ水溶剤 4. (バイカルティ)※2	600倍(166.6g) 2,000倍(50g) 2,000倍(50g) 1,000倍(100g)	3日前まで 前日まで 前日まで	9回以内 4回以内 3回以内	1. 胴枯病の萎凋枯死花そうや、枯死枝を除去し、焼却する。 胴枯病患部の削り取り痕や太枝の切り口にパッチレート(せん定時及び患部削り取り直後、3回以内)を塗布する。	／		
6月上旬	輪紋病 胴枯病 アブラムシ類 シンクイムシ類	1. スクレアフロアブル 2. ウララDF 3. (バイカルティ)※2	3,000倍(33.3cc) 2,000倍(50g) 1,000倍(100g)	前日まで 14日前まで	3回以内 2回以内	1. 黒斑細菌病の果実や枝は徹底して切除して処分する。 2. シンクイムシ類発生園ではウララDFに替えてスクレアフロアブル※1 2,000倍(前日まで、5回以内)を散布する。	／		
6月中旬	輪紋病・胴枯病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 アブラムシ類 ハダニ類	1. アビオン-E(展着剤) 2. ベンレート水和剤 3. ダントツ水溶剤 4. ダニコングフロアブル 5. (バイカルティ)※2	2,000倍(50cc) 2,000倍(50g) 2,000倍(50g) 2,000倍(50cc) 1,000倍(100g)	前日まで 前日まで 前日まで 前日まで	4回以内 3回以内 1回	1. この時期より雨が多い場合は輪紋病の感染が多くなるので散布間隔をあげないように注意する。	／		
6月下旬	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 アブラムシ類 ハダニ類	1. アビオン-E(展着剤) 2. インターフロアブル 3. ダントツ水溶剤 4. ダニコングフロアブル	2,000倍(50cc) 5,000倍(20cc) 2,000倍(50g) 2,000倍(50cc)	7日前まで 前日まで 前日まで	3回以内 3回以内 1回				
6月下旬	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 アブラムシ類	1. アビオン-E(展着剤) 2. オキシラン水和剤 3. テルスターフロアブル※1 4. (バイカルティ)※2	2,000倍(50cc) 600倍(166.6g) 3,000倍(33.3cc) 1,000倍(100g)	3日前まで 前日まで	9回以内 2回以内	1. オキシラン水和剤は、おとう・もへへの飛散に注意する。 2. 降雨前防除を基本とするが、強い雨で薬液が乾く前に流された時は再散布する。 3. この時期は、特に適量散布に留意する。	／		
7月上旬	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ	1. アビオン-E(展着剤) 2. オキシラン水和剤 3. ターザンDF 4. (バイカルティ)※2	2,000倍(50cc) 600倍(166.6g) 3,000倍(33.3cc) 1,000倍(100g)	前日まで 3日前まで 30日前まで	2回以内 2回以内				
7月上旬	輪紋病 シンクイムシ類	1. アビオン-E(展着剤) 2. ナリアWDG 3. ダントツ水溶剤	2,000倍(50cc) 2,000倍(50g) 2,000倍(50g)	前日まで 前日まで	3回以内 3回以内				
7月中旬	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 アブラムシ類 ハダニ類	1. アビオン-E(展着剤) 2. オキシラン水和剤 3. モスピラン顆粒水溶剤 4. ダニゲッターフロアブル 5. (バイカルティ)※2	2,000倍(50cc) 600倍(166.6g) 2,000倍(50g) 2,000倍(50cc) 1,000倍(100g)	3日前まで 前日まで 前日まで	9回以内 3回以内 1回	1. ダニゲッターフロアブルは開花期の水稲に不稔の葉害を生じる場合があり、飛散させない。	／		
7月下旬(2回目)		ナシヒメコン		10a当り50本を追加設置		詳細は2ページを参照			
7月下旬	輪紋病 胴枯病 シンクイムシ類 アブラムシ類 カイガラムシ類	1. トップジンM水和剤 2. オキシラン水和剤 3. オリオン水和剤40 4. (バイカルティ)※2	1,500倍(66.6g) 600倍(166.6g) 1,000倍(100g) 1,000倍(100g)	前日まで 3日前まで 3日前まで	6回以内 9回以内 2回以内	1. カメムシ類の発生園ではオリオン水和剤40に替えて、テルスター水和剤※1 1,000倍(前日まで、2回以内)を散布する。 2. 他樹種へ飛散させない。	／		
8月上旬	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 (ハダニ類)	1. オキシンドー水和剤80 2. バイスロイドEW※1	1,200倍(83.3g) 2,000倍(50cc)	3日前まで 7日前まで	9回以内 2回以内	1. りんごつがるの隣接園では8月5日頃までに終了する。(オキシンドー水和剤80はりんごで収穫14日前まで) 2. ナシヒメシンクイは、桃、スモモなどの心折れが見られる場合は特に注意し、8月から9月中旬まで散布間隔を10日以上開けないようにする。 3. ハダニ類の発生がみられた場合はコロマイト水和剤2,000倍(前日まで、1回)を加用散布する。コロマイト水和剤はおとう・ももに登録がないので飛散させない。 4. ベルコート水和剤は、桃、レクチェに葉害のおそれがあるので飛散させない。	／		
8月中旬	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類	1. フリントフロアブル25 2. バリアード顆粒水和剤	2,000倍(50cc) 2,000倍(50g)	前日まで 前日まで	4回以内 3回以内		／		
8月下旬	輪紋病、胴枯病 シンクイムシ類	1. トップジンM水和剤 2. エクシレールSE	1,500倍(66.6g) 5,000倍(20cc)	前日まで 前日まで	6回以内 3回以内		／		
9月上旬	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類	1. オキシンドー水和剤80 2. アグロスリン水和剤※1	1,200倍(83.3g) 1,000倍(100g)	3日前まで 前日まで	9回以内 3回以内	1. ナシヒメシンクイの発生、産卵時期なので、散布むらのないようにしていぬいに散布する。	／		
9月中旬	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類	1. ファンタジスタ顆粒水和剤 2. アグロスリン水和剤	3,000倍(33.3g) 1,000倍(100g)	前日まで 前日まで	3回以内 3回以内		／		
9月中旬	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類	1. ストライド顆粒水和剤 2. バリアード顆粒水和剤	1,500倍(66.6g) 2,000倍(50g)	前日まで 前日まで	3回以内 3回以内	1. 葉害防止の為、高温時(25度以上)の散布は避ける。 2. ストライド顆粒水和剤は日本なしに登録がないので飛散させない。	／		
9月下旬	輪紋病 シンクイムシ類、ハマキムシ類	1. ストロビドドライブフロアブル 2. エクシレールSE	2,000倍(50g) 2,500倍(40cc)	前日まで 前日まで	3回以内 3回以内		／		
収穫後	黒斑細菌病	1. アビオン-E(展着剤) 2. ICボルドー412	2,000倍(50cc) 30倍(3.3kg)	— —	— —	1. 収穫が終わっていない他樹種へ飛散させない。	／		
落葉後	越冬病害虫	1. 石灰硫黄合剤	10倍(10ℓ)	発芽前	—		／		

収穫前使用時期で「前日」とは24時間前である。 オートサイド水和剤80、キャブレート水和剤、オキシラン水和剤などキャプタンを含む剤の使用基準は合計で9回以内である。 オキシラン水和剤、オキシンドー水和剤80、キシンドーフロアブルなど有機銅を含む剤の使用基準は合計で9回以内である。※1 合成ピレスロイド剤は蚕毒・魚毒が強いので、桑園・養魚池、河川などの近くでは絶対に使用しない。
※2 バイカルティは、日持ちの向上が期待できる。

西洋なし(ラ・フランス)